

取組みの評価の記載

○：予定していた取組・事業等を実施した。 △：予定していた取組と異なる取組・事業等を実施した。 ×：予定していた取組・事業等が実施できなかった。

三木市地域公共交通網形成計画（平成31年3月）の概要				施策の評価					取組みの評価	予定していた取組・事業等が実施できなかった理由等	
基本方針	施策	具体的な取組	取組みの内容	実際の取組内容（代替の取組を含む）	評価項目	取組み実績値					
						令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度
鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成	1-① 粟生線の維持・存続に向けた活性化及び利用促進	神戸電鉄粟生線活性化協議会への参画及び粟生線活性化策・利用促進策の検討・実施	神戸電鉄粟生線活性化協議会へ引き続き参画するとともに、「粟生線地域網形成計画」と連携し、企画乗車券や割引制度の充実など、粟生線の活性化策・利用促進策を検討・実施する。	・神戸電鉄粟生線活性化協議会に参画した。 ・当協議会において、イベント列車、おもてなしきっぷ、スタンプラリー等を実施し、利用者数の増加を図った。	参画	参画	参画	参画	参画	○	
				・神戸電鉄福祉バスの交付	交付件数	3,500	1,974	1,489	2,082 (R5.1末時点)		
				・北播磨総合医療センターへの通院等に係る神戸電鉄利用補助（令和4年度まで）	交付件数	729	406	410	429 (R4.12末時点)		
				・神戸電鉄通勤定期運賃助成（令和元年度まで）	交付件数	44	-	-	-		
		粟生線とバスの接続改善に向けた利用促進策の検討・実施	ダイヤ改正等による粟生線とバスの接続改善により、利用者の利便性の向上を図る。	・バスのダイヤ改正時に、鉄道との接続を考慮したダイヤを編成 ・一部バスルートを変更し、自由が丘及びびさつき台と駅とのアクセス強化を図った。	見直しの実施	実施	実施	-	-	○	
				・恵比須駅～渡瀬線の新設（吉川高校生対応）	実施	-	-	実施	-	○	
		交通結節点の強化による利便性の向上	駅及びバス停の設備等の整備により交通結節点の機能を強化し、利用者の快適性や利便性の向上を図る。	・令和4年3月28日に神戸電鉄三木駅下り駅舎が完成し、5月21日は駅前広場（ロータリー）が完成したことにより、交通結節点機能向上	整備完了箇所	0	0	1	0	○	
				・小型又は中型バス路線の乗り入れ	実施	-	-	-	実施	○	
		三木駅の再生	平成30年3月の火災により焼失した三木駅の復旧のみならず駅周辺のにぎわいづくりとともに、粟生線の更なる活性化に資する交通環境の構築を図る。	・令和4年3月28日に神戸電鉄三木駅下り駅舎が完成し、5月21日は駅前広場（ロータリー）が完成したことにより、交通結節点機能向上	三木駅の整備	-	-	整備	-	○	
				・三木駅下り駅舎の待合スペースにおいて、ゴルフ・金物・山田錦の懸垂幕・横断幕を掲示	実施	-	-	実施	-	○	
駅の空きスペース及び駅前空間等の活用による沿線のにぎわい創出	地域との協働で駅の空きスペース、駅前空間及び駅周辺の商店街の有効活用を図ることにより、駅の活性化や沿線のにぎわい創出を図る。	・三木駅下り駅舎にデジタルサイネージを設置し、行政情報の発信に加え、企業広告による地域経済の振興に寄与	整備	-	-	-	整備				
		・神戸電鉄粟生線活性化協議会において、金物まつりの開催に合わせ、恵比須駅で出張販売イベントを実施	実施	実施	-	-	-	○			
鉄道施設の更新・改良による安全性の確保及び輸送サービスの向上	車両更新や鉄道施設の更新・修繕等に対し、国庫補助を最大限に活用しつつ、安全で安定した輸送サービスの向上と利用者の快適性、利便性の向上を図る。	・令和元年度まで、市独自で車両更新に対して支援を実施 ・毎年、国、県及び沿線市が協調し、鉄道設備への支援を実施	支援の実施	実施	実施	実施	実施	○			
		・志染駅～三木駅区間の10時台～14時台まで1時間に1往復を1時間に2本に増便運行を実施（10時台：神戸電鉄、11時台～14時台：三木市）	実施	-	実施	実施	実施	○			
粟生線の維持・存続のための適正な運行形態の検討	輸送実態に応じたサービス水準の見直しや将来の適正な運行形態に関する検討をはじめ、必要に応じた運行ダイヤの見直しなどにより、粟生線の継続的な運行を確保する。										

取組みの評価の記載

○：予定していた取組・事業等を実施した。 △：予定していた取組と異なる取組・事業等を実施した。 ×：予定していた取組・事業等が実施できなかった。

三木市地域公共交通網形成計画（平成31年3月）の概要				施策の評価						取組みの 評価	予定していた取組・事業等が 実施できなかった理由等	
基本方針	施策	具体的な取組	取組みの内容	実際の取組内容（代替の取組を含む）	評価項目	取組み実績値						
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
1-② 持続可能なバス路線網の形成		幹線バスを基軸とした、将来にわたり持続可能なバス路線網の形成	「三木市バス交通の見直し方針」を定め、幹線バスを基軸として、市内路線バスの適正な運行形態に関する検討及び見直し等を実施し、利用者ニーズや運転者不足の状況にも十分に留意しながら、将来にわたり持続可能なバス路線網の形成を図る。	・令和元年10月に旧コミュニティバスの見直しを実施 ・令和2年10月に北播磨総合医療センター方面行きバスの見直しを実施	実施	実施	実施	-	-	△	令和4年4月の見直しについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、見直し後の利用状況の変動が大きく、参考にするのが困難であったことから中止とした。	
		一律運賃制による利用促進	市内間移動に便利な一律運賃制を継続することにより、利用者の利便性の向上を図る。	・一律運賃制の継続及び定期的に広報等でPRを行った。	実施	実施	実施	実施	実施	○		
		利用しやすい環境整備による利便性の向上	バスロケーションシステムなど、バスを利用しやすい環境を整備することにより、利用者の利便性の向上を図る。	・三木駅前広場の整備に合わせ、バスロケーションシステムを含むデジタルサイネージの設置を検討	実施	-	-	-	-	-	×	事業費が高額であり、他の整備を優先し、行政情報及び企業広告のみデジタルサイネージの設置に留まった。
		「デマンド型交通」などの新たな交通手段の導入の検討	将来における新たな交通手段として、予約運行等により需要に応じた運行が可能となる「デマンド型交通」などの新たな交通手段の導入を検討する。	・吉川地域において、デマンド型交通（チョイソコみき）を令和3年4月1日より運行を開始した。	年間利用者（人）	-	-	1,571	2,227 (R5.1末時点)	○		
		自動運転システムの導入可能性の検討	自動車の運転支援技術開発が急速に進展している中、将来における移動手段の確保に向け、安全確保を前提に自動運転システムの導入可能性を検討する。	・セミナーや三田市の中型バス自動運転実証実験試乗会に参加	-	-	-	-	-	-	×	事例研究に留まり、実際の導入検討に至っていない。自動運転の導入の検討よりデマンド型交通の導入検討を優先した。
2-① 交通と「まちづくり」の協調・連携	駅周辺における定住促進		駅周辺における定住促進による定住人口の増加など、駅を中心としたまちづくりを推進し、公共交通利用者の増加を図る。	・新婚世帯等の移住・定住を促進するため、中古住宅取得等の支援及び三木の魅力を市内外へ情報発信	実施	実施	実施	実施	実施	○		
				・地域資源を活用したまちづくりの会を立ち上げ	実施	-	-	-	実施	○		
				・湯の山街道ライトアップを実施	策定	-	-	-	着手	○		
				・立地適正化計画の策定を進めるため庁内検討委員会を立ち上げ	実施	-	-	-	実施	○		
	市内企業の振興		市内企業を振興し、就業人口の増加による公共交通利用者の増加を図る。	・地場産業振興事業の実施 (三木商工会議所運営事業補助金、吉川町商工会運営事業補助金、中小企業人材育成事業補助金、特許権取得助成金、三木金物商工協同組合連合会事業運営補助金、三木金物古式鍛錬技術保存事業補助金、三木金物後継者育成事業補助金 等)	実施	実施	実施	実施	実施	○		
				・起業家支援事業の実施 ①起業家支援事業補助金 ②起業ビジネスプラン塾	①補助件数 ②受講者数	①3件 ②22名	①4件 ②14名	①4件 ②16名	①6件(予定) ②15名	○		
				・中小企業サポートセンター事業の実施	相談件数	1,742	1,918	1,724	実施中	○		
				・商店街パワーアップ事業の実施	補助件数	1	0	4	3	○		
				・令和3年度に県企業庁と「ひょうご情報公園都市次期工区の産業団地整備に関する基本合意書」を締結し、整備事業を推進	実施	-	-	実施中	実施中	○		
				・令和4年度に三木工場公園で市内初の自転車専用通行帯の供用を開始	整備	-	整備中	整備中	整備中	○		
	計画的な道路整備		計画的な道路整備により、バスのみならず徒歩や自転車等の利用環境の向上を図り、快適性及び利便性の向上並びに公共交通の利用促進につなげる。	・市道岩宮大村線【(都)鳥町岩宮線】の整備	整備	整備中	整備中	整備中	整備中	○		
				・緑が丘地区、自由が丘地区において、街路樹の根浮き対策工事及び段差解消工事を実施	実施	実施	実施	実施	実施	○		
・「三木市自転車活用推進計画」の策定				策定	-	策定	-	-	○			
・三木穴栗線（高木末広バイパス）の整備（R4.4供用開始）				整備	-	-	整備	-	○			
住宅や企業立地を支える公共交通網の充実		住宅地や企業用地と駅等を結ぶアクセスバスの導入可能性を検討し、住宅や企業立地を支える公共交通網の充実を図ることにより、相互間アクセスの向上による利便性向上と利用促進を図る。	・三木工場公園へのアクセスバスの充実検討のため、同公園内の入居企業に対し、アンケート調査を実施	実施	実施	-	-	-	△	十分な利用が確保できないことから休止中。引続き、要検討		
			・令和4年3月28日に神戸電鉄三木駅下り駅舎が完成し、5月21日は駅前広場（ロータリー）が完成したことにより、交通結節点機能向上が期待できる。	整備	-	-	整備	整備	○			
交通結節点の強化や駅前の活性化		駅をはじめとする交通結節点の強化を図るとともに、駅、停留所及び駅周辺機能を充実することにより、駅や駅周辺の活性化を図る。										

取組みの評価の記載

○：予定していた取組・事業等を実施した。 △：予定していた取組と異なる取組・事業等を実施した。 ×：予定していた取組・事業等が実施できなかった。

三木市地域公共交通網形成計画（平成31年3月）の概要				施策の評価						取組みの評価	予定していた取組・事業等が実施できなかった理由等
基本方針	施策	具体的な取組	取組みの内容	実際の取組内容（代替の取組を含む）	評価項目	取組み実績値					
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成	2-② 交通と「福祉」との協調・連携	「地域ふれあいバス」の運行継続及び未導入地域への導入検討	地域との協働による「地域ふれあいバス」の運行継続や未導入地域への導入検討により、地域に最も身近な移動手段の確保を図る。	・市内4地域（口吉川、別所、自由が丘及び細川地域）において地域ふれあいバスの運行を継続 ・未導入地域（三木南及び志染地域）において、地域ふれあいバスの導入に向け、まちづくり協議会等と協議	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		高齢者、障がい者のバス等の運賃助成	高齢者、障がい者に対するバス等の運賃助成を行うことにより、社会参加の促進と自立の向上を図る。 併せて、バス交通の見直しの代替策として、タクシー運賃助成等の拡充などの検討を行う。	・70歳以上の高齢者を対象に、2,000円相当のバス・鉄道・タクシーの助成券を交付 障がい者を対象に、2,000円相当のバス・鉄道・タクシーの助成券を交付	交付者数	14,272	12,690	13,697	13,717 (R4.12末時点)	△	バスの見直しに伴う公共交通空白地へは、デマンド型交通を代替輸送手段として導入したため、タクシー運賃助成券の拡充は行わなかった。
		運転免許証の自主返納者（高齢者）への支援	運転免許証の自主返納者に対して、バス等の運賃助成を行うことにより、移動支援と社会参加の促進を図る。	・65歳以上の運転免許証の自主返納者に対し、1万円相当のバス・鉄道・タクシーの助成券を交付	交付者数	1,291	1,698	1,923	1,978 (R5.1末時点)	○	
	2-③ 交通と「教育」との協調・連携	高校生の通学利用の多い路線バスの確保・維持	一律運賃制によるバスの利用促進を図り、高校生の通学利用の多い路線バスの確保・維持に努める。	・一律運賃制の継続実施 ・「吉川図書館前・みなぎ台～三木営業所・北播磨総合医療センター」について、国・県と協調補助を実施し、路線の確保・維持を図った。	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		公共交通を利用した教育事業の推進	学校等の行事等で神戸電鉄を利用した際の運賃助成を行うことにより、粟生線の利用促進と教育の振興を図る。	・学校等の行事等で神戸電鉄を利用した際の運賃助成を実施	交付件数	29	3	5	11 (R5.1末時点)	○	
		園児、小中学生に対するモビリティ・マネジメントの推進	乳幼児学級に参加している親子や小中学生に対し、バス乗車体験会などの公共交通にふれあう機会を創出し、今後の公共交通利用につなげる。	・東吉川小学校及び緑が丘アフタースクールにおいて、バス乗り方教室を実施 ・95周年ラッピングバスイベントの実施（緑が丘東小学校）	実施回数	2	0	0	0	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催が困難となった。
		スクールバスの路線バス化の検討	小中学校の統廃合の動向を見定める中で、スクールバスの路線バス化を検討し、一般利用者の利用機会の拡大による利便性の向上を図る。	・志染中学校及び星陽中学校の統廃合に伴う、路線バスを活用した通学を検討	実施	-	-	-	-	×	ダイヤ及び車両の調整が調わず、スクールバスを導入した
	2-④ 交通と「観光」との協調・連携	観光地を経由するバスルートの検討	駅と観光地を結ぶ既存路線バスの活用や新たなアクセスバスの導入を検討し、公共交通を利用した観光客数の増加を図る。	令和元年度10月に「三木別所観光ルート」の一部ルートを見直し、三木鉄道記念公園前経由に変更することで、観光地へのアクセス強化を図った。	実施	実施	-	-	-	○	
		観光施設や観光イベントと連携した企画乗車券等の発行	観光施設や観光イベントと連携した企画乗車券等の発行を通じ、公共交通を利用した観光客数の増加を図る。	・『路線バス「吉川三宮線」&吉川温泉「よかたん」』企画乗車券の販売	販売枚数	77	66	68	実施中	○	
				・三木金物まつり1DAYチケットの販売及びガラガラ抽選会の実施	販売枚数	323	-	-	263	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントの開催が困難となり、企画乗車券の販売ができなかった。
				・「ネスタリゾート神戸（電車・バス&プール）格安クーポン【土日祝日・お盆期間限定】」の販売	販売枚数	78	-	-	-	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、企画乗車券の販売が困難となった。
		季節や地域らしさを感じられる交流イベントの開催	金物まつり、山田錦まつりなどの交流イベントを開催することにより、公共交通を利用した交流人口の増加を図る。	・「神鉄おもてなしきっぷ」の販売 ・「おもてなしメニュー引換券」の引換可能店舗（飲食店）に新たに観光施設を追加	販売枚数	2,572	2,318	3,698	3,728	○	
・金物まつり及び山田錦まつりを開催				実施	実施	-	-	実施	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催が困難となった。	
・駅を集合場所としたみっきいバイキングの実施				参加者数				1,235（残り1回3/26開催予定）	○		
観光ガイドの作成	観光地近辺の駅情報と併せ、徒歩や自転車（レンタサイクル等でアクセスできる多様なルートマップを掲載した観光ガイドを作成することにより、公共交通を利用した観光客数の増加を図る。	・神鉄ハイキングを実施	参加者数	13,013	2,164	5,583	9,782 (R5.1末時点)	○			
		・三木市公共交通総合時刻表の発行	発行部数	35,000	5,000	4,000	5,000	○			
		・粟生線×バス乗継ガイドの発行	発行部数	15,000	15,000	10,000	-				
・みきマルまるマップの発行	発行部数	-	-	-	10000						

取組みの評価の記載

○：予定していた取組・事業等を実施した。 △：予定していた取組と異なる取組・事業等を実施した。 ×：予定していた取組・事業等が実施できなかった。

三木市地域公共交通網形成計画（平成31年3月）の概要				施策の評価						取組みの評価	予定していた取組・事業等が実施できなかった理由等
基本方針	施策	具体的な取組	取組みの内容	実際の取組内容（代替の取組を含む）	評価項目	取組み実績値					
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
公共交通の活性化及び利用促進	3-① 市民に対するモビリティ・マネジメントの実施	市民に対する公共交通利用への協力要請	市民に対し、モビリティ・マネジメントを継続的に実施するなど、公共交通の利用促進の働きかけを行う。	・三木市地域公共交通網形成計画、神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画、地域のバス交通、デマンド型交通及び地域ふれあいバス等の説明 ・地域の文化祭等においてバスの乗り方教室の開催	実施回数	26	42	13	3	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催が困難となった。
		転入者に対する公共交通利用の協力要請	転入者に対し、おでかけガイドや広域時刻表を市役所市民課の窓口等で配布し、交通手段が定着してしまう前に公共交通の優先利用行動を喚起する。	・転入者に対し、「三木市公共交通総合時刻表」「ニコバードに関する案内」を配布している。	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		地域拠点等における公共交通の利用啓発	地域住民による公共交通の利用促進を図るため、市立公民館等の公共施設において公共交通利用のPRや啓発を行う。	・地域の文化祭等においてバスの乗り方教室の開催 ・時刻表や公共交通に関するパンフレット等を公民館に配架	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		インターネット等を活用した公共交通の利用啓発	インターネット等を通じ、沿線情報や観光資源を対外的に周知・PRすることにより、市外からの公共交通利用を促進する。	・観光情報サイト「三木市観光情報サイトmikiおでかけplus」の運営 ・神話・伝承体験アプリ「たまむすび」との連携	実施	-	-	-	実施	○	今年度中に三木市観光協会のホームページと一元化
		公共交通時刻表の作成による公共交通の利用啓発	鉄道とバスの広域時刻表を作成し、接続情報を紙媒体やインターネットで提供することにより、利用者の乗継利便性の向上を図る。	・三木市ふるさと納税において神戸電鉄の乗車券を返礼品として提供 ・新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組みの周知活動	実施	31	13	0	-	○	
		公共交通時刻表の作成による公共交通の利用啓発	鉄道とバスの広域時刻表を作成し、接続情報を紙媒体やインターネットで提供することにより、利用者の乗継利便性の向上を図る。	・三木市公共交通総合時刻表の発行 ・粟生線×バス乗継ガイドの発行	発行部数	35,000	5,000	4,000	5,000	○	
	3-② 企業等に対するモビリティ・マネジメントの実施	企業、事業所等に対する公共交通利用への協力要請	企業等に対し、モビリティ・マネジメントを継続的に実施するなど、公共交通の利用促進の働きかけを行う。	・三木工場公園へのアクセスバスの充実検討のため、同公園内の入居企業に対し、アンケート調査を実施	実施	実施	-	-	-	△	十分な利用が確保できないことから休止中。引き続き、要検討
		出張時等におけるパークアンドライド駐車場の活用に向けた普及啓発	企業等に対し、出張時における公共交通の利用喚起とともに、パークアンドライド駐車場の活用に向けた普及啓発を行う。	・「三木市公共交通総合時刻表」及び「粟生線&バス乗継ガイド」にパークアンドライド駐車場の利用方法に関する説明文を掲載し、周知・PRを実施 ・バス利用者用駐車場の管理（無料）（久留美、志染、吉川IC、みなぎ台）	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		市職員等による公共交通の率先利用	市民による公共交通の利用促進を図るには、まずは行政側からその姿勢を示すことが求められることから、市職員の公共交通利用を促す取組を継続する。	・「ノーマイカーデー」を毎月第4金曜日に実施 ・自治体職員等による出張用の神戸電鉄回数券の利用	実施	936	277	469	実施中	○	
		三木市地域公共交通検討協議会の定期的な開催	三木市地域公共交通検討協議会を定期的に開催し本計画の検証や評価等を行うことにより、継続的な計画推進に資する。	・三木市地域公共交通検討協議会を開催	開催回数（書面開催を含む）	1	3	0	4	○	
		公共交通を支える主役としての積極的な利用促進（市民）	市民は公共交通利用の中心（主役）であることから、公共交通を自らの問題であると認識するとともに、日常生活においても公共交通の利用意識を高める。	・地域の公共交通について、まちづくり協議会等において協議している。 ・三木東高校による粟生線の存続を願うイメージムービーを制作	実施	実施	実施	実施	実施	○	
	3-③ 市民等、交通事業者、行政の協働による公共交通の利用促進	生産性向上の取組の推進（交通事業者）	交通事業者においては、将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築できる行政においては、市民等、交通事業者との連携を強化し、公共交通に関する情報交換や意見交換を積極的に行うとともに、公共交通の利用実態や課題の把握に努める。	・利用状況等を考慮し、適宜ダイヤ改正を実施 ・適宜、交通事業者と公共交通の見直しについて協議 ・まちづくり協議会等において、公共交通について、説明及び協議 ・バス交通の見直しに際し、住民説明会を各地区で実施	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		関係者間の連携強化（行政）	行政においては、市民等、交通事業者との連携を強化し、公共交通に関する情報交換や意見交換を積極的に行うとともに、公共交通の利用実態や課題の把握に努める。	・市補助路線バス及び「三木市公共交通総合時刻表」のPDFデータを市ホームページに公開 ・「神姫バスNAVI」の継続運用	実施	実施	実施	実施	実施	○	
		公共交通に関する適切な情報提供（交通事業者・行政）	利用者等に対し、インターネット等を通じた公共交通に関する情報提供を適切に行う。		実施	実施	実施	実施	実施	○	
		公共交通に関する適切な情報提供（交通事業者・行政）	利用者等に対し、インターネット等を通じた公共交通に関する情報提供を適切に行う。		実施	実施	実施	実施	実施	○	